

ハ乙女



タイムカプセル
開封!!



タイムカプセルの開封式

青少年育成南砺市民会議

南山見単位会議長 高田和典

七月二十二日(木)、タイムカプセルの開封式が南山見交流センター前で行われました。これは旧井波町の開町六百年記念行事として平成二年十一月十八日に埋められたもので、三十一年の時を経て開封されました。

本来であれば、埋設から三十年後の令和二年に開封する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止のため一年延期しての開封となりました。

当日は天候にも恵まれ、子供からお年寄りまで多くの方に参加して頂きました。小型重機を使い直径二十二センチ、長さ百三センチの筒状カプセルを掘り出しました。参加者の皆さんは、中から出てきた絵や手紙、当日の新聞などを手に取り、当時の事を懐かしんでおられました。

タイムカプセルを埋設してから三十年以上の時がたち、私たちの生活が大きく変化しました。特に昨年、新型コロナウイルスによる感染症が流行してからは、マスク着用やアルコール消毒・検温そして三密を控えるなど今までと違った新しい生活スタイルに変わり、誰もがこのような状態を予想すらしなかったと思います。こんな状況の中でも私たちの南山見地区では、これからも地区の絆を大切に、人と人との繋がりは「蜜」であり続けたものです。

イノシシ対策現地調査を実施して

まちづくり部会長 山本義秀



一矢於留神社前から西大谷川まで延びる鋼製柵一

一箱罟と鉄柵一

七月十七日(土)午後から、昨年に続いてイノシシ被害対策の現地視察を行いました。昨年以上の多くの方に集まっていただき関心の高まりを感じました。

今年は大雪の影響か、イノシシの生息数が少ないようです。また、電気柵の敷設面積が増加していました。

視察に先立って、電気柵の施工方法について説明をしました。

① 電気柵の電線を接続延長する際は、電線同士の接触面積を増やすように絡める。

② 電気柵は昼夜連続通電する。イノシシは明るくなった朝方にも活発に活動するため、昼夜連続通電は必須である。通電されていないと単なる紐だと認識し、通電の有無に関わらず鼻先での確認を行わず突っ込んでしまうことになるため、他所の電気柵に迷惑をかけることになる。剛毛の毛皮部分は電気を通さない。

③ アース棒は電気回路を構成する重要な部品である。湿り気のある地面に深く打込む。

④ ソーラーパネルは最も発電効率が高い南側に向けること。

⑤ 定期的な見回りが重要。「パチン、パチン」と電線同士の接触不良により放電していることもある。杉枝や草で覆われて漏電していたり、ゲートハンドルの接続忘れや本体電源の入れ忘れなどを発見したりすること。

志観寺では、来年から上部東側農道沿いに鋼製柵の設置を計画しており、順次拡張していくとのことでした。連代寺では鋼製柵と門扉を追加設置し、山側から入り

込めないよう、完全遮断できるようにになりました。しかし、下部から侵入したイノシシが山に帰れなくなる問題を起こしています。

鋼製柵を施工したら万全と思われるかもしれませんが、彼らは弱いと思われる箇所には体当たりし出来た隙間から脱出するすべを身に付けています。支柱と柵を結ぶステンレス結束線が衝撃で切断し、柵が変形している箇所もありました。潜り込み防止のスカート部分の金網のワイヤー施工も重要であり、未施工箇所が潜られています。長い戦いになることを覚悟しなければなりません。

清玄寺では、隣接町内との連携で電気柵の経路の改善が見られました。法面近くで電線を敷設すると飛び越すことがあるので、支柱を立てる場所を考慮しなければなりません。東城寺では、西側を流れる中江川の護岸ブロックに登った痕跡があり、河川で遮断できるという妄想が打ち砕かれました。イノシシのクライミング能力に前途多難を感じました。

院瀬見地区では、山際の林道に約一キロメートルに渡って電気柵を設置しています。点検作業も計画的に実施しており、ご苦労されているようでした。点検の際に、本体高圧線を外した時の電圧と接続した時の電圧を簡易テスターで見ると、本体機能、電路の漏電状況などを知らることが出来ます。今後

も携行してもらいたいです。終わつてみて、電気柵の敷設撤去作業の労力も大変です。今後も延々と続くと思うとゾッとします。これからは、個体数を減らす捕獲に向けた施策を本気で考えなくては行けないと思います。

皆さんと知恵を出し合い対応していきます。



一現地視察参加の皆さん一

南山見忠魂碑慰霊祭

南山見忠魂碑維持会

会長 碓井好彦



八月十五日(日)谷の浄教寺にて、「南山見忠魂碑慰霊祭」が執り行われました。

昨年は、浄教寺様、遺族会のご了解のもと新型コロナウイルスと感染防止を考慮して慰霊祭を中止させて

いただきましたが、今年は、参加者を減らし、規模を縮小して何とか開催することができました。当日まで、役員数人で忠魂碑周りの除草や清掃を三、四回実施して当日を迎えましたが、あいにくの天気のため慰霊祭は本堂にて行うこととなりました。

慰霊祭は、山本保彦区長会代表の進行により、戦没者の霊位に捧げる黙祷から始まり、維持会会長の式辞、来賓を代表して才川昌二市議会議員の祝辞と進みました。その後、浄教寺様による読経、そして、参加者の焼香へと移り、静かな祈りの時が過ぎていきました。

式辞でも申し上げましたが、井波町招魂碑社誌により、南山見忠魂碑は、昭和天皇の即位記念事業として西南戦争・日清日露戦争以来、国に殉じた戦没者を南山見村全体で祀るとして健立されたこととす。また、井波町史や南山見校史により、昭和二十二年に浄教寺さんの敷地寄付というご厚意により、現在地に忠魂碑が安置されたこととす。このような経緯から、地区内の全町内会長が忠魂碑維持会役員となり、南山見地域全体で忠魂碑を維持していく仕組みが創られました。これからも地区住民の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も「要望書」を提出しました

会長 碓井好彦

南山見地域づくり協議会まちづくり部会に提出いただいた各町内からの要望事項のほとんどは、「地域づくり協議会井波連合会」の要望書に盛り込んでいただきました。この要望書を持って井波連合会の役員で、9月16日には南砺市ふるさと整備部長、建設整備課長、ブランド戦略部長、林政課長、文化・世界遺産課長、総務部長、財政課長、教育委員会教育長、教育部長、教育総務課長、そして、南砺市長にお願いしてきました。市長要望の際は、井波地域の市議会議員にも同行いただき、今年も才川議員からは強く後押ししていただきました。なお、10月に入って、富山県砺波土木センター長、南砺警察署長にもお願いに行きました。本地区からの要望事項は以下の通りです。

1 院瀬見町内会からの要望

- ・ 砺波南部広域農道の歩道枯死低木の植替えまたは撤去

2 里領町内会からの要望

- ・ 屋敷林等の伐枝葉処理への助成依頼

3 東城寺町内会からの要望

- ・ 林道丸山線の横断暗渠の改修及び路盤の整備

4 継続要望

① 鳥獣被害防止

- ・ イノシシ被害の実態調査と地域連携による対応

② 主要地方道井波城端線（谷～城端）

- ・ 歩道の拡幅等の整備促進（川原崎・沖地内）

③ 市道東城寺線舗装補修

- ・ 流水が均一に流れるオーバーレイ舗装（東城寺）

④ 県管理河川の推積土砂浚渫等

- ・ 西大谷川（沖地内）
- ・ 干谷川（院瀬見地内、沖地内）

⑤ 県管理河川の転落防止柵補修等

- ・ 中江川（沖地内）の転落防止柵補修

⑥ 治山事業の整備促進

- ・ 川原毛谷路路及び谷止工

⑦ 水路改修

- ・ 川原毛谷水路線形改良

⑧ 林道の適切な維持管理

- ・ 路肩陥没箇所の整備
- ・ 路肩の草刈りや雑木の処理
- ・ 山側法面の樹木処理



－院瀬見地内広域農道の枯死低木－



－沖地内中江川の転落防止柵－



七月二十二日（木）南山見グラウンドにて、「三世交代交流ラジオ体操とミニマラソンの集い」が行われました。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、今年は感染対策を行いながら二年振りに開催することができました。当日は天候にも恵まれ、朝早くから子供からお年寄りまでたくさんの方に参加頂きました。朝一番の清々しい空気の中、参加者は気持ち良い汗を流し、心身ともにリフレッシュされたと思います。

いまだ、コロナ禍ではありますが、この三世交代交流の集いを通じて笑顔になれるよう、各世代のつながりを深め合い、互いに見守り合う地域づくりの活動を続けていきたいと思っております。

青少年育成南砺市民会議
南山見単位議長 高田和典

三世交代交流
ラジオ体操と
ミニマラソンの集い



学習・スポーツ部会

南山見老人クラブ 奉仕活動について

南山見老人クラブでは、コロナ禍ではありましたが、今年も各地区から多くのクラブ員の参加の下、七月十七日(土)に環境美化活動(四十五名参加)を、第三十六回全国一斉社会奉仕の日として九月十八日(土)(四十二名参加)に清掃活動を南山見交流センター周辺で行いました。

環境美化の日にはゲリラ豪雨が続き天候が心配されましたが、当日は晴天。夏空のいい日となり、朝五時半から手慣れた手つきで農村公園やグラウンド、花壇の周辺が約一時間程度ですつかりきれいになり地区の皆様は喜ばれております。

社会奉仕の日には台風の影響で雨模様でしたが、早朝五時半の薄暗い中、草丈も伸びておりましたがテキパキと作業がなされ、こちらも約一時間程度で清掃が完了、交流センター周辺が見違えるほどきれいになりました。

早朝からご協力いただいた会員各位には、あらためて心より感謝申し上げます。コロナ禍で活動の制約もありますが、今後も地域に根ざした老人クラブ活動を心掛けていきますので、一層のご協力をよろしくお願いいたします。

(老人クラブ連合会 会長 長田晴樹)



老人クラブ ペタンク大会

七月三十日コロナ禍の中、南山見ペタンク部会の大会を五月七日以来二月ぶりに開催しました。当初グラウンドで行う予定でしたが、異常高温の影響をまともに受けながら全員マスクを着け久しぶりの試合にもかかわらず二十七名の参加がありました。老人パワーも捨てたものではないと感激しました。この様な家庭的な試合で部員が楽しんでおられ嬉しく思いました。言い忘れましたが全員マスク美人でした。



高齢者学級の開催

七月五日(月)に第二回高齢者学級を開催いたしました。今回は、南山見地区社協との合同開催でした。講師に浄教寺住職の高瀬顕正師をお迎えするという事で、大勢の参加が見込まれること、三密を避けたいということから会場を八乙女サロン会館から南山見交流センターに変更して実施しました。予想通り五十九名もの参加があり、約一時間に渡って「忘恩、知恩、報恩」と題してお話をお聴きました。

主な内容は次のとおり

- ・「恩」には三つの恩がある。一つは忘れぬ恩、二つ目は改めて知る恩、三つ目は報いる恩。
- ・ご自身の体験から健康を害したときにありがたかった奥様への気持ち
- ・大相撲で優勝した力士のインタビューから、育ててくれた両親への「恩」に報えて嬉しかったという報告
- ・俳優の瀧美清さんの言葉から、「今日出会って知った人には恩があり、恩を知る」
- ・桜名所での老夫婦の会話から忘恩

お母さん「来年もきれいな桜、見れるかね?」
お父さん「今日見た桜は、今一瞬を忘れず、一日一日を大切にしている」

仏教の教えにあるとのこと。どんな場面にも人には「恩」の中で生きており、この三つの恩で世の中が成り立っているんだと教えられました。

(南山見老人クラブ連合会 高齢者学級長 碓井好彦)



こうして異常環境の影響をまともに受けながら全員マスクを着け久しぶりの試合にもかかわらず二十七名の参加がありました。老人パワーも捨てたものではないと感激しました。この様な家庭的な試合で部員が楽しんでおられ嬉しく思いました。言い忘れましたが全員マスク美人でした。試合形態は、親睦を主体とした為、チーム三形態はくじ引きで構成し、チーム三名トリプルス、ボールは一人二個で試合をしました。優勝戦は行わず、通常九点先取を十三点先取とし試合時間を長くして試合を楽しみました。

馴染みのない方の為に簡単に試合方法を説明します。試合進行はオリンピックのカーリング、ポッチャとよく似たやり方です。フランスの国技で、プロチームや、専用競技場のあるスポーツです。目標玉を六十メートルの所に投げ、七百グラム前後の鉄球(室内は柔らかい球)を目標玉に近づけるように投げ、近い方が勝ちとなるスポーツです。昔カッチン玉の上手な人は上手いと思いますので、ぜひ見学に来て興味があれば投げてみてください。お待ちしております。毎週木曜日を練習日しております。

(ペタンク部会 長田 修)

環境美化活動を行いました

6月13日(日)に成年部会員12名参加のもと、南山見交流センターの周辺、グラウンドの草刈りと溝掃除を行いました。

様々な地域や県内外での活動が自粛されているにも関わらず活動を行うことができ、会員同士の交流も深めることが出来ました。今後も会員同士協力し、地域に少しでも貢献できる活動を行っていききたいと思います。

(成年部 武田 務)



児童クラブ入会式・花壇作り

児童クラブでは、6月6日に入会式を行い、新たに7名の新1年生を迎えて、25名で今年度の活動をスタートしました。しかし、昨年からの新型コロナウイルス拡大の影響で当初行う予定であった菖蒲祭りの子供あんどんコンクールが中止となり、入会式と花と緑の銀行グリーンキーパーの皆さんと一緒に花壇作りを、時間縮小で行いました。少し淋しい開催となりましたが、児童たちの笑顔を見ることができ安心しました。このコロナ禍の中で行事等は中止になることが多いですが、児童たちが集まり楽しめる機会を作っていけるよう工夫していきたいと思っています。

(児童クラブ 瀧田龍也)



南山見分団 秋の活動について

南砺市消防団井波方面団
南山見分団 分団長 徳成一彦

南山見地域の皆様、日頃より地域の防火防災についてご尽力頂き、誠にありがとうございます。

過日九月七日に過去の井波大火を忘れず、二度と大火が起きないように、井波八満宮において防火祈願及び井波一円を巡回啓発しました。

今後の予定

十一月七日 井波、庄川合同訓練（砺波市庄川地内）

訓練の後、一般家庭防火診断

十一月九日～十五日迄

秋の火災予防運動地区内巡回します。

寒くなり、ストーブ等が恋しい時期となりますが、火の元には充分気を付けましょう。

令和3年度 クリーンアップ事業の実施結果について



6月～8月にかけて、各町内会にて「市道クリーンアップ事業」を実施していただきました。これは南山見一円の市道のゴミ拾いや草刈り等を行い道路を綺麗に維持する事業ですが、今年も昨年同様にコロナ感染症の対策として、3密対策を取りながらの活動となりました。延べ300名以上の方に参加して頂きました。こうした活動の積み重ねにより、今後も美しく住みよい南山見を守っていきましょう。（事務局）



お知らせ

南山見地区避難訓練

10月24日(日)

(対象を絞って実施します)

交流センター設備の充実

農村公園フェンス撤去工事(市の予算)

老朽化により、大変危険な状態であったため、撤去いたしました。



体育館内壁修繕工事(市の予算)

体育館の内壁上部の壁面が老朽化のため張替修繕。併せて換気扇一台を交換いたしました。(工期 9/10～10/15)



協議会の予算で設置・修繕

会議室にエアコンを設置し、賞状掲示レール等取付工事を行いました。また、体育館器具室の床・一部天井の修繕工事もしました。



協議会の予算で入れ替え

事務室のコピー機をカラーコピー機に入れ替えました。各団体、地区の皆さんもご利用ください。



ご不便をおかけしました

「交流センター利用制限」

新型コロナウイルス感染第五波襲来により、富山県独自の警戒レベルが「ステージ3」に引き上げられました。これに伴い、南砺市では公共施設の利用制限が発令されました。南山見交流センターでも、八月十八日から左記のポスターを掲示して、住民の皆さんに利用制限をお願いしました。

約一か月間、ご不便をおかけしましたが、富山県に出されていた国の「まん延防止等重点措置」が、九月十二日をもって解除されたことに伴い、翌十三日から当センターでも利用制限を解除し、通常の利用に戻しました。

しかし、今後も気を緩めることなく、センター利用の際は、マスクの着用、検温、手指の消毒、三密の防止等に心掛けて頂きたいと思っております。よろしくお願いたします。


(管理者 田中 一昭)

南山見交流センターの利用について

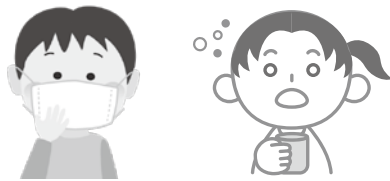
※ 富山県では、新型コロナウイルス感染防止対策が「ステージ3」に移行したため、南砺市からの要請により、交流センターの利用を次の通りいたします。

- 1 利用時間は、午前9:00から午後7:00までとします。
- 2 体育館は、内壁修繕工事もあり、10月末まで利用禁止とします。
- 3 会議は10名未満で実施してください。
- 4 教室・サークル活動は原則禁止とします。

以上の対応は、8月18日(水)から当分の間実施します。ご理解とご協力をお願いいたします。



南山見交流センター管理者



今後の予定

- 10月24日(日) 避難訓練
 - 10月31日(日) ふるさと探訪八乙女山トレッキング
(9月26日から延期)
 - 11月7日(日) 児童クラブ作品作り・チューリップ球根植え
 - 11月21日(日) 第44回八乙女文化祭・第30回敬老の集い
-
- 令和4年**
- 1月4日(火) 新年の集い
 - 1月8日(土) 南砺市消防団出初式
 - 1月9日(日) 南砺市井波地域成人式
(予備日 3月13日(日))
 - 2月13日(日) 第33回三世代交流の集い
 - 2月中旬 八乙女講座

お知らせ



第44回八乙女文化祭は11月21日(日)開催です。内容は、ステージ発表や模擬店ははしませんが、農産物品評会・作品展示・数当てクイズ及び敬老の集い・米寿のお祝い等を予定しています。

地域の皆様の作品展示物や農産物品評会への出品をお願いいたします。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で史上初めて一年延期となった東京五輪大会は、緊急事態宣言下での開催を強いられ、大半の会場は無観客。批判と混乱の中、世界中から集まった選手らが熱戦を繰り広げ、日本のメダル獲得は史上最多五十八個(内金二十七個)を記録しましたが、テレビの中のイベントになりました。

県内では、八月二十日から九月十二日までまん延防止等重点措置が適用され、県全域ステージ3、県内感染者は八月二十三日から五日連続の百人超となりました。中でも十代、二十代の若者の感染者が多く、デルタ株やクラスターも発生しました。この状況下で地区においても八乙女フェスティバルや八乙女体育祭は中止となりました。来年は是非とも開催出来ることを願うばかりです。

この度も会報八乙女一三一号をご愛読いただきありがとうございます。
(編集委員長)

南山見
地域づくり協議会
HPはこちら

